



誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを目指して

2023年（令和5年）

1月号 No.211

社協だより たてばやし

発行

社会福祉法人 館林市社会福祉協議会

謹賀新年



この「社協だより」は共同募金の配分を受けて発行しております。





館林市社会福祉協議会 会長 三田 正信

新年あけましておめでとございます。
 会員の皆様には健やかなうちに新春をお迎えのことと、心からお喜び申しあげます。また、日頃より本協議会活動に深いご理解とご支援、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて長引くコロナ禍社会のなかで迎える三度目の新年となりました。
 社協においても会議や集会、行事が縮小または中止となり、顔を合わせ膝を突き合わせて語り合う機会が少なくなるなど、人と人の活動で成り立つ社協にとって大変厳しい環境が続いています。

特に地域を取り巻く福祉の環境は、団塊世代が後期高齢年齢を迎える2025年を目前に大きな転換期を迎えています。

これまでは、各種の相談窓口を介して解決が図られてまいりましたが、近年ではこれらに加え、問題が複雑にからむ困難な事例が増加しており、個別の対応では解決できないことが増えています。

親の介護で離職し再就職出来ずに貧困に陥るケースや、施設入居や死亡に伴い空き家となった雑草樹木など環境問題、災害時の要支援者避難の問題、認知機能の低下により自己管理能力を失い犯罪に巻き込まれるケース、解決を諦め近隣との交わりを持たない「引きこもり」など、福祉問題のみならず様々な社会問題を誘発しています。

国や県ではこれら問題を解決するため、窓口による「相談支援体制」から当事者に寄り添って解決する「寄り添い支援体制」に変えようとしています。

館林市においても今後は「より添い支援」の体制に移行して行くものと考えておりますが、それには市内社協8支部で築きあげてきた「支え合い協議体」による共生社会づくりの活動を基に知恵と力を結集しなければなりません。

「自助、互助、共助」の考えと共に、地域に住む一人ひとりが、地域の一人として果たすべき役割を見出し、一日も早くその役割を担いながら共生社会を実現しなければならぬと考えておりますので、皆様のご理解とご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに社協会員の皆様と社協支部、関係福祉団体のいやさかをご祈念申しあげ新年のあいさつといたします。



館林市 市長 多田 善洋

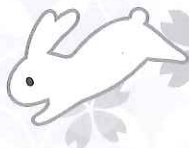
新年、明けましておめでとございます。
 皆様におかれましては、輝かしい新春をご家族お揃いで健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃より地域福祉活動の推進に格別なご尽力を賜っておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症と折からの物価高や円安に翻弄される一年でございましたが、ワクチン接種の進展と、関係機関の皆様の創意工夫と、何より地域住民の皆様一人一人のご協力によって、3年ぶりに手筒花火大会や産業祭を開催することが出来ました。コロナ禍により冷え込んだ地域コミュニティが再び動き出し、和が醸成されるものと期待を寄せております。

このような地域コミュニティの再興にあつては老若男女問わず、特に、高齢者の方々が地域活動と交流を通じ、生きがいのある生活を送れることが大切です。そのためには、社会福祉協議会との連携及び協力により、多様化、複雑化した福祉ニーズに対応していくことがなお一層重要になってくるものと考えております。引き続き、「地域で支え合い、生涯健康で暮らせる 幸福感の高いまち」の実現を目指して、邁進してまいりますので、どうぞ、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、社会福祉協議会の限りないご発展と、市民の皆様にとつて、輝かしい一年になることをご祈念いたしましたので、年頭のご挨拶とさせていただきます。





館林市議会 議長 権田 昌弘

明けましておめでとうございます。年頭にあたり、館林市議会を代表いたしましたとして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

社会福祉協議会におかれましては、重点目標として掲げた「ふれあい・支え合いの地域づくり」、「地域福祉を担う人づくり」、「地域福祉を推進するしくみづくり」や「安全・安心して生活できる環境づくり」など、日々ご尽力いただいておりますことに、心から敬意と感謝を申しあげます。

また、新型コロナウイルスやウクライナ情勢などの影響を受け、暮らしや雇用に対する不安・ストレスを抱え、辛い思いをされている方々の生活を守る「最後の砦」としての活動を展開されており、ことに重ねて感謝申し上げます。

さて、昨年9月に市議会議員選挙が行われ、新人議員が8名、18名中6名が女性議員という新たな構成となりましたが、市議会といたしましては、行政との連携のもと「地域で支え合い、生涯健康で暮らせる、幸福感の高いまち」の実現に向けて全力で取り組む所存でございますので、本年も皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、社会福祉協議会の益々のご発展と、本年が市民の皆様にとりまして、健康で希望に満ちた一年となりますようご祈念申しあげ、新年のごあいさつとさせていただきます。



館林市福祉団体連絡協議会 会長 松澤 恒雄

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

令和2年1月に初めて確認された「新型コロナウイルス」の感染は、3年が経過しようとしていますが、いまなお対応に苦慮しております。各福祉団体の行事開催に難しい対応が求められ、日常の生活にも影響をおよぼすこととなりました。早期に効果的なワクチンや予防薬の開発が望まれるところです。

さて、高齢化社会が進み人生百年時代が叫ばれる中で、ひとり暮らしの家族が多くみられるようになりました。新型コロナウイルス感染症の影響に伴い高齢化社会の変化に即した、新しい生活様式に対応できる「友愛活動」に地域をあげて取組んでまいりたいと思います。各福祉団体会員のみなさまのご理解とご協力をよろしく願います。結びに館林市福祉団体連絡協議会にとりまして、今年が良い年でありまうお祈り申し上げ新年のごあいさつといたします。



館林市ボランティアサークル連絡協議会 会長 上 山 晴 美

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、口頃より本会活動にご理解、ご支援いただき感謝申し上げます。

未だに新型コロナウイルス感染症が収束しない中、昨年本会の研修会を三年ぶりに対面で開催でき、多くの参加をいただき有意義な時間を楽しく過ごす事ができました。今後のボランティア活動に活かしていきたいと考えています。

少しずつではありますが、ボランティア活動再開に向け、前向きに動き始めたところで、皆様のご指導、ご理解をお願い申し上げます。

結びに、皆様におかれましても幸多き年になりますよう心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



NPO法人連絡協議会 会長 高橋 弘明

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかなうちに新春をお迎えのことと謹んで新年のお慶びを申し上げます。

さて、この三年近くのコロナ感染拡大の影響で、人と人が分断され、日本の未来を担う子ども達に我慢を強いら、さらに大人達も不安で煽られ、その結果マスクで表情が見えないもののその隠された表情には疲労が現れてきているようです。そのような中において少しずつですが、いろいろな場所で三年ぶりの催しが開催されて喜びの声が響いています。人と人が集うと私たちの心に明るく穏やかで、それでいて希望という名の灯火が広がっていくようです。今という一瞬の時間を大人達も子ども達も止めたり戻したり、もちろん繰り返したり出来ないからこそ大切に過ごしていきたいものです。失った時間は取り戻せません。

これからも市民活動を草の根からの活動として皆様の側に寄り添ってNPO法人連絡協議会は活動して参ります。

結びに新しい年が館林市とそこに息づく皆様にとって素晴らしい年となることを祈念し、さらに皆様方の健康も祈願して新年のご挨拶とさせていただきます。

令和4年度 館林市社会福祉協議会会長表彰・感謝

館林市社協では毎年、地域福祉の向上または社協事業の遂行にあたり、尽力し功労のあった個人や団体を表彰しております。前年に引き続き、コロナウイルスの感染防止対策により縮小した形となりましたが、多くのかたに功労に対する感謝をお伝えし、顕彰することができました。

【役員功労】

(敬称略)

川田 陽子 (大街道)	小島 當史 (高根町)
-------------	-------------

【高額寄付】

(敬称略)

館林つつじライオンズクラブ	館林ライオンズクラブ	株式会社ダイナム館林店
---------------	------------	-------------

【地域福祉功労】

(敬称略)

落合 進 (朝日町)	故 堀越 進 (本町)	市川 昭一 (若宮町)
小野 晴美 (大島町)	故 森田 照子 (近藤町)	中島 節子 (下三林町)
川島 淑江 (上三林町)	菊地 泰子 (大谷町)	

【ボランティア功労】

(敬称略)

戸叶 民子 (成島町)	松久 知恵子 (つつじ町)	大塚 千世子 (松原)
-------------	---------------	-------------

【感謝状】

(敬称略)

大塚 一弘 (大島町)	山崎 豊 (邑楽町)	鳥羽 晴美 (大島町)
増山 志津子 (南美園町)	石川 敏雄 (下三林町)	木下 友三郎 (傍示塚町)
塩田 正 (赤生田町)	福田 連一 (日向町)	渡邊 清一 (花山町)
荻野 康男 (赤土町)	鈴木 久雄 (足次町)	谷津 恵二 (下早川田町)
金子 康一 (入ヶ谷町)	川島 久典 (木戸町)	亀山 一美 (足次町)
阿部 隆 (苗木町)	川島 恒男 (上三林町)	
中島 四郎 (若宮町)	芻月 勇 (赤生田町)	
川島 博 (上三林町)		
金子 一 (足次町)		
阿部 博 (羽附町)		

「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」

11月11日(いい日・いい日)は「介護の日」です。高齢化などにより介護が必要な方々が増加している一方、介護にまつわる課題は多様化しています。介護のあり方も施設介護から在宅介護、在宅介護から地域介護へと変わろうとしている中、多くの方々に介護を身近なものとして捉えていただこうと、市内在住在勤者及び在学生を対象に川柳の募集を呼び掛けました。

応募者数1175名、1616作品の応募がありました。長孝次審査員による厳正な審査の結果、下記のとおり入選作品が決定し、館林市社会福祉協議会三田正信会長より、表彰状が授与されました。



最優秀賞 武藤美幸 様



優秀賞(一般) 中村貞藏 様



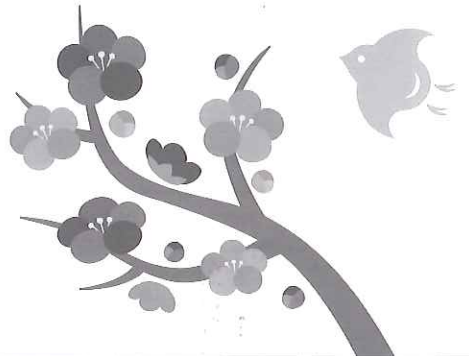
優秀賞(小学生) 西森陽斗 様



優秀賞(中学生) 日下部将彌 様



優秀賞(高校生) 石原康貴 様



入選作品

最優秀賞

イケメンの 介護士母の お気に入り

武藤 美幸

優秀賞(一般の部)

介護する 百歳越えの 母を見る

中村 貞藏

優秀賞(小学生の部)

助けよう ろうろう介護 見捨てずに

第四小学校五年 西森 陽斗

優秀賞(中学生の部)

リハビリで 疲れた祖母の 肩たたく

第一中学校一年 日下部 将彌

優秀賞(高校生の部)

介護の輪 手を取り合って 広げよう

館林高校一年 石原 康貴



ペットボトルキャップ

合計 531.6 g

- 須永水道工事 須永均 (3.4kg)
- 六郷第一民児協 (8.6kg)
- 西高根町区のみなさん (23.0kg)
- 堀工女性部会 (19.9kg)
- 滝澤愛子 (3.1kg)
- 諏訪美智代 (10.8kg)
- 中部第二民児協 (8.0kg)
- 柴沼一真 (18.6kg)
- 赤羽民児協 (23.5kg)
- 郷谷公民館 (41.5kg)
- 橋本次子 (14.6kg)
- 緑町2丁目区のみなさん (96.6kg)
- 野辺のオアシス (12.8kg)
- 高橋みつ子 (2.8kg)
- 酒井史枝 (3.4kg)
- 中部第二民児協 (7.8kg)
- 館林市立東幼稚園 (14.5kg)
- 第一生命館林中央営業オフィス (18.7kg)
- 赤羽公民館 (4.9kg)
- ガールスカウト群馬第76団 (25.3kg)
- 六郷第一民児協 (0.8kg)
- 阿部昂 (9.6kg)
- 多々良民児協 (2.2kg)
- 渡瀬公民館 (19.7kg)
- 中部第二民協 (9.5kg)
- 邑楽館林農業協同組合 (51.4kg)
- 日向ふれあいサロン (2.8kg)
- 西高根町区のみなさん (3.9kg)
- 館林市立第六小学校 (20.7kg)
- 南幼稚園 (21.4kg)
- 佐川信行 (8.1kg)
- 新井雅子 (1.2kg)
- 県立館林高等特別支援学校 (18.9kg) [写真下]



使用済み切手

合計 150 g

- 阿部昂 (150g)

カード

合計 40 g

- 阿部昂 (40g)

プルトップ

合計 20,212 g

- 六郷第一民児協 (150g)
- 西高根町区のみなさん (550g)
- 堀工女性部会 (4,600g)
- 滝澤愛子 (1,300g)
- 諏訪美智代 (2,500g)
- 橋本次子 (932g)
- 野辺のオアシス (184g)
- 高橋みつ子 (206g)
- ガールスカウト群馬第76団 (1,250g)
- 六郷第一民児協 (512g)
- 阿部昂 (6,550g)
- 渡瀬公民館 (836g)
- 日向ふれあいサロン (642g)

その他

- 小林美津枝 (毛糸ぼうし・マフラー 300個)
- 佐川信行 (タオル 24本)
- (株)ダイナム 館林店 (食料品 雑貨 70個) [写真下]



寄附金額

合計 112,646 円

- 東毛地区理容親善チャリディゴルフ大会
邑楽館林・太田・桐生・伊勢崎支部 (23,800円)
- 寺内吉一 (8,846円)
- 両毛ヤクルト販売株式会社 (80,000円) [写真下]



ランドセルプレゼントのお知らせ

このたび、館林市社会福祉協議会「子どもの総合相談窓口」では、「たてばやし元気クラブ」様より、今年もランドセルのご寄付を頂くことになりました。

つきましては、令和5年に小学校へ入学するお子さまにプレゼントいたします。

1. 対象者 令和5年に館林市内小学校へ入学するお子さまのいる家庭
※数に限りがあるため、世帯の所得制限があります(注1参照)

2. 募集人数 若干名

3. 応募受付 令和5年1月5日(木)～1月20日(金)

4. 応募方法 お電話にてお申込みください。応募用紙をお送りします。

(注1) 対象となる世帯(所得制限について)

・市民税非課税世帯のかた(注:対象児童と生計を一にする)

・市民税48,600円未満の世帯のかた

(保育料徴収基準額表の階層区分B4までの世帯)

※応募対象者であるかの確認のため、市職員が関係書類を調査させていただきます



【問合せ】 子どもの総合相談窓口(地域福祉課) まで

精神障がい者サポートボランティア養成講座を開催します

「こころの病」のあるかたが地域で生活していくためには、地域住民や生活を支える支援者の協力や理解が必要です。本講座では「こころの病」のある方の社会参加を支えていくボランティアを養成します。

時 間 令和5年2月22日(水) 午後1時30分～4時

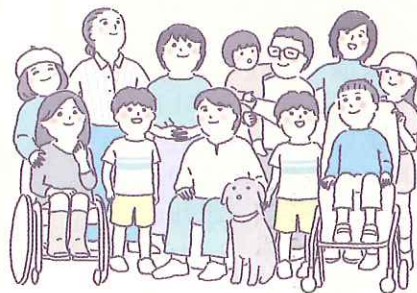
場 所 館林市総合福祉センター 3階ふれあい工作室

参加費 無料

定 員 15名(館林市・邑楽郡内に在住のかた)

申込み 令和5年1月10日(火)より受け付けます

問合せ 地域福祉課まで



広報委員

齊藤 順子(社協館林支部)
佐々木文子(社協第三支部)
小林ユウ子(社協第四支部)
和田 典雄(社協第五支部)
桑子 博行(社協第六支部)
岩瀬 安弘(社協第七支部)
小島 早苗(社協第八支部)
飯塚 秀芳(社協第九支部)
松久知恵子(ボランティア団体)
真下 洋子(ボランティア団体)
山田 申(福祉団体)
延山 昇(福祉団体)

◇問合せ…地域福祉課まで

◇申込み…1月13日(金)まで

◇募集人数

入門編…30人(先着順)

基礎編…15人(先着順)

◇時間…午後7時～8時30分

◇場所…館林市総合福祉センター 3階

◇期日…1月18日、25日、2月1日、8日、15日

いずれも水曜日

以前に手話講習会に参加されたかた、別のところで手話をちよつと勉強したかたなどもう一度手話をやってみようかなと思っっているかた、フォロアアップ研修会に参加してみませんか?

**手話奉仕員養成講習会
「フォロアアップ研修会」
参加者募集!**

【発行・問合せ】 社会福祉法人館林市社会福祉協議会 (□総務課 □地域福祉課 □介護事業課)

館林市苗木町2452-1(館林市総合福祉センター内)

【URL】 <http://tshakyo.ec-net.jp/>

【TEL】0276-75-7111

【FAX】0276-75-8111

【E-mail】 tshakyo1@siren.ocn.ne.jp